

## 室小路自治会

室小路自治会は年々世帯数が増え、集合住宅4割という特徴から、市内でも比較的若い層の多い地域。スポーツが盛んで、平成30年度の滝沢市民体育祭では、駅伝とファミリーバレーで優勝し、総合優勝となるなど、活気ある自治会である。

### 親子で防犯に関心を

自治会員がより地域の課題に関心をもち、気軽に自治会活動に関われるような仕組みづくりに力を入れており、毎年、防犯交通部を中心に防犯パトロールを実施。自治会内3つの区ごとに、子どもたちが拍子木を打ちながら自治会内の見回りをするというもの。住民自らが区内の危険箇所に気付き、地域の安全にも関心を持てる機会となっている。また、スクールガードには新1年生の保護者の参加を呼びかけている。これにより、子育て世代の方々がスクールガードとしての役割を担うようになった。さらに、令和2年度には自治会内で危険箇所等を共有するスマートフォンアプリの実証実験を役員で行った。

自治会員と協力し、今後も地域の安心安全な環境づくりに努めていきたい。



拍子木を打ちながら見回り

### 祈りを込めてお祭り実施

毎年恒例の「室小路自治会夏祭り」は、各世代が連携を取りながら実施。実行委員（役員・班長・副班長など）を中心に、子ども会は「子ども会屋台」を、滝沢南中学校の地区生徒会は販売・焼き

物の手伝いを担当している。なでしこ保育園の園児によるお遊戯の披露の他、地域の全世帯に無料ドリンク券の配布もあり、来場者が700人を超えることもある。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響でお祭りを中止したが、令和3年度は例年行ってきた屋台や舞台で賑わう祭りの代替として、コロナ終息を願い、感染症対策に工夫した「七夕まつり」を開催した。いきいきサロン等で七夕飾りを作製、全世帯に宛てた案内状には抽選番号を付け、当日会場を訪れた人が景品の引替を行ったり、願いを書いた短冊を笹竹に吊るせるよう企画。初めて実施したメイン通り花壇コンクールの参加作品の写真展示も行った。お祭りは古来より豊穡や息災など祈りを込めて行われるもの。コロナ終息後も祈願の意味を込めたお祭りを実施していきたい。



令和3年度「七夕まつり」

### 今後の展望

夏祭りの他、敬老会での子ども会による歌や踊りの披露やメッセージカードの進呈、いきいきサロンと保育園の交流等、様々な形で行ってきた世代間交流活動の拠点となる公民館の移転新設に向けて準備を進めている。



現室小路公民館